

## ■株式の状況 (2008年6月30日現在)

発行可能株式総数	120,000,000株
発行済株式の総数	31,931,900株
株主数	7,300名

所有者分布状況

区分	株主数(名)	株式数(株)	議決権比率(%)
証券会社	7	4,900	0.01
外国人	6	1,693,100	5.76
金融機関	17	2,863,362	9.74
その他国内法人	62	12,358,526	42.04
個人・その他	7,206	12,487,600	42.45
保管振替機構名義株式	1	2,586	—
自己名義株式	1	2,521,826	—
合計	7,300	31,931,900	100.00

(注) 議決権比率は期末現在の総株主の議決権数に対する比率で、小数点第3位を四捨五入しております。

## ■株主メモ

事業年度	1月1日～12月31日
定時株主総会	3月下旬
単元株式数	100株
期末配当金受領株主確定日	12月31日
中間配当金受領株主確定日	6月30日
基準日	定時株主総会については、12月31日 その他必要があるときは、あらかじめ公告する一定の日

## <株式の名義書換>

株主名簿管理人	東京都港区芝三丁目33番1号 中央三井信託銀行株式会社
同事務取扱所 (お問い合わせ先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 中央三井信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-78-2031 (フリーダイヤル)
同取次所	中央三井信託銀行株式会社 全国各支店 日本証券代行株式会社 本店・全国各支店
公告方法	電子公告により、当社ホームページ (http://www.joyfull.co.jp/) に掲載いたします。 なお、やむを得ない事由により、電子公告による公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載して行なうものとします。

## 株式会社ジョイフル

本社/〒870-0141 大分市三川新町一丁目1番45号 TEL.097-551-7131

株主様向け  
アンケート


## 株主の皆様の声をお聞かせください

当社では、株主の皆様の声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

下記URLにアクセスいただき、  
アクセスコード入力後に表示される  
アンケートサイトにてご回答ください。  
所要時間は5分程度です。


 <http://www.e-kabunushi.com>  
アクセスコード 9942

Yahoo!、MSN、exciteのサイト内にある検索窓に、いいかぶと4文字入れて検索してください。

 **空メールによりURL自動返信**  
kabu@wjm.jpへ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入) アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。

●アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。

ご回答いただいた方の中から  
抽選で薄謝(図書カード500円)  
を贈呈させていただきます

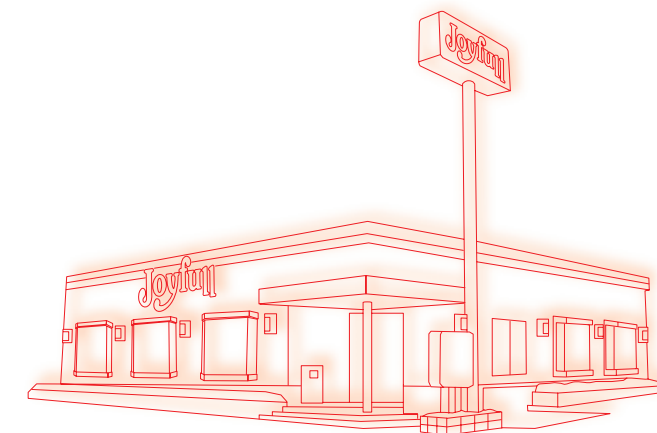
 ※本アンケートは、株式会社エーツーメディアの提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。(株式会社エーツーメディアについての詳細 http://www.a2media.co.jp) ※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます。事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

●アンケートのお問い合わせ TEL:03-5777-3900(平日 10:00~17:30)  
「e-株主リサーチ事務局」 MAIL:info@e-kabunushi.com

## 株式会社ジョイフル

### 第34期 中間報告書

2008年1月1日から2008年6月30日まで  
銘柄コード：9942



# Joyfull

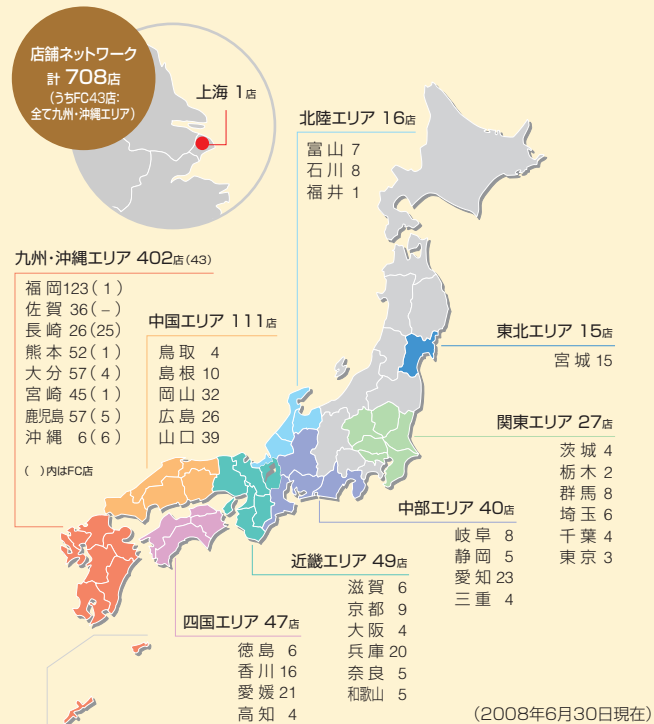


## 会社概要

(2008年6月30日現在)

社名	株式会社ジョイフル
本社所在地	大分市三川新町一丁目1番45号 ●大分工場／大分市三川新町一丁目1番45号 ●大分配送センター／大分市下郡中新地3410-1 ●熊本工場・配送センター／熊本県菊池市袈裟尾字下大迫445-4 ●愛知工場／愛知県豊川市御津町佐脇浜三号地1-17
創業	昭和40年6月
創立	昭和51年5月
従業員数	1,404名 上記従業員の他にパートタイマー7,316名(8時間換算) を雇用しております。
主要な事業内容	『ファミリーレストラン ジョイフル』のチェーン展開
連結子会社	上海巧芸餐飲有限公司 株式会社ジョイフルサービス

## 店舗一覧



株主の皆様へ

# ジョイフルブランドの拡大をめざし 新たな基盤づくりに邁進してまいります。

株主様におかれましては、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。第34期中間決算をご報告するにあたりひと言で挨拶申し上げます。当中間期の日本経済は先行きの不透明感が増すとともに、ガソリン単価の大幅な上昇、食料品等の価格の値上げ基調など厳しい事業環境にありました。

その中において当社は、魅力ある商品メニュー開発や、海外出店の開始など積極的な事業展開を図ってまいりましたが、外出回数や外食回数の減少傾向により来客数が前年を下回ったことなどから、中間期連結決算公表以来初の減収となりました。

## 国内外の新たなマーケットの創出に取り組んでいます。

ファミリーレストラン市場が成熟化し、中食・コンビニエンスストア業態との競合が激化する中、さらなる成長を目指すには新たなマーケットの創出が必要です。

当社は2005年以降、新たな出店を控えて既存店の強化に注力してまいりましたが、今期はジョイフルブランドの拡大を念頭に、海外展開および、国内における新業態出店準備に取り組みました。海外展開では、2008年5月に上海にジョイフル1号店をオープンし、中国という巨大

なマーケットで、ファミリーレストランという新しい食文化を定着させるべく、チャレンジしてまいります。また、新業態出店では、時間帯によって提供商品や利用方法が変化する二毛作業態“こだんせ”および、地産地消型ブッフェレストラン“陽菜多(ひなた)”の2つの業態準備を進め、2008年7月にオープン致しました。

## マーケットニーズに立脚した商品開発を展開しています。

既存業態・新業態に限らず、お客様の支持を得るためにはマーケットニーズに立脚した商品開発が重要です。当中間期においては、春・夏のグランドメニュー改訂はもとより、月替わりメニューの継続、また、新たな主力商品となった「ジョイフルハンバーグ」の開発、ガソリン・食料品等の価格の値上げ基調の中、「生活応援フェア」を実施するなど、機動的な商品企画を展開することができました。

さらに次世代のお客様であるお子様に対しては、メニューの充実や販売促進施策を強化しています。ジョイフル体験を重ねることで、当社を長期的にご利用いただくことを目指した「Next Generation 戦略」の定着に努めています。

## 人材力によって ブランド価値の向上を目指します。

次なる成長のためには、ジョイフルブランドの強化を支える人材力の充実が大切です。お客様にジョイフルブランドの価値をお伝えしていくことのできる人材の育成に軸足を置いてまいります。店長・SV制度の本格稼働をはじめとするマネジメント施策の充実を図り、魅力ある商品戦略、店舗戦略とともにジョイフルブランドを高めてまいります。

株主様におかれましては、当社のご状況にご理解を賜り、今後ともご支援をいただきますようお願い申し上げます。

代表取締役社長

長尾一徳  
Kazunori Nagao



# ジョイフルは、お客様に満足と喜びをご提供するお値打ち感満載のレストラン。 Joyfull Standard & New Style !

今期の商品開発の基本コンセプトは、ジョイフルスタンダードとともに、新しい魅力を創造すること。マーケティング戦略に軸足をおき、お客様の生活においていつも身近な存在として、満足いただけるためのメニュー展開・店づくりを目指しております。

## 生活応援フェアを展開

### 人気メニュー『ミックスグリル』を地域・期間限定で値下げしました

最近の物価高騰の中、お客様のご来店動機促進を目的に、期間限定値下げキャンペーン「生活応援フェア」を実施しています。6月に九州地区限定で展開したフェアで大好評をいただいたことから、7月の「生活応援フェア」第二弾『洋風ツインハンバーグ』では、対象を全国に拡大して実施。下半期も継続実施いたします。

第一弾生活応援フェア



ミックスグリル  
~~¥509~~  
¥499

たくみ  
巧完成

### ジョイフルハンバーグを新定番に！



この味で、  
世界を  
変えてやる



ジョイフルハンバーグ

とろ〜りとろけるチェダーチーズで覆われたジョイフルハンバーグ。特製ディップがベストマッチ。

いつの時代も愛されてきたジョイフルのハンバーグ。国内自社工場で製造したこだわりのジョイフル特製ハンバーグに、新定番として育てていきたい商品が完成しました。

## Next Generation 戦略

ジョイキッズリニューアル

### ジョイフルの味を“ソウルフード”に



ジョイフルが未来戦略（Next Generation 戦略）として取り組んでいる「ジョイキッズ」のメニューをリニューアルしました。キッズ向け商品およびサービスの充実が、当社の重要課題です。これからも魅力あるご利用体験をご提供する商品開発に注力します。また、5年ぶりに新什器の開発に取り組みました。事前にモニタリング調査を実施して誕生した新什器は、「機能性」だけでなく「食育」など、お子様の視点にたって開発されたジョイフルのオリジナルデザインです。



あつあつキッズグラタン  
¥499

新メニュー



もぐもぐからあげごはん  
¥499

新什器



### 人気キャラクターがPR

「仮面ライダーキバ」・「プリキュア5GoGo！」など、お子様に大人気のキャラクターとタイアップした販促キャンペーンを全国展開し、大好評をいただきました。

### TOPIC

これからも地域の皆様とのつながりを大切に。

新什器の開発にともない、資源の有効利用と社会貢献を目的として、保管状態にあった未使用の旧型什器約3,400枚を、大分県下の保育所をはじめとする県内5団体へ贈呈しました。

# 長期的成長を実現するため、 ジョイフルブランドの拡大にチャレンジします。

ジョイフルは、小商圏・ドミナント出店を基本に店舗数を拡大してきました。今期は、ジョイフルブランドの拡大へ向けた新たなチャレンジとして、ジョイフル初の海外出店、新業態レストランのオープンに取り組んでいます。また、国内直営店の新規出店を一店舗行いました。長期的成長に向かって、効果的な店舗のスクラップ&ビルドを実行し、「日常の暮らしに役立つレストラン」というコンセプトのもと、バランスのとれた店舗展開を志向してまいります。

New Open  
5/18

## 上海巧艺府

### 上海ジョイフル1号店が オープンしました

かねてより準備事務所を設立し、開業準備を進めてまいりました上海ジョイフル1号店（3階建・129席）が、上海中心エリアにオープンしました。上海という成熟したマーケットには世界中から外食産業が参入しており、厳しい競争が予測されますが、24時間営業のファミリーレストランという新しい食文化の定着に取り組んでいきます。今後3年間に、上海市内を中心に5店舗のテストケース出店を計画しています。



New Open  
7/4

## こだんせ (明野店・大分市)

### シーン対応型のごはん処 ごはんCafeteria&ごはんdining



昼は便利なセルフ式の和食カフェテリア、夜は釜めし&干物のごはんダイニングとして、ビジネスパーソンからファミリーまで、お客様の生活シーンをサポートするレストランです。



夜は釜めしと干物を中心にご家族でもお楽しみいただけます。

New Open  
1/21

## ジョイフル (高知金田店・高知市)

### ジョイフル2年振りの新規出店！

New Open  
7/21

## 陽菜多 (中島店・大分市)

### 地産地消型の自然食 buffet レストラン



ライブキッチンで設けた開放的で清潔感のある空間で、素材にこだわった和食感覚のお料理を。地元で育てられた野菜を活用した健康志向の食材を、時間制限なく、ゆったりとした気分でお楽しみいただけます。



「ゴーヤちゃんぷる」など身体にうれしいメニューが並び フルーツはその場でカット



「田舎風かぼちゃの煮付け」人気の「朝採りトマトの蜂蜜ソース」

# “魅力” アップを目指した店舗運営を推進します。

店長・SV制度、全店監査などを通じ、店舗QSCC（接客、調理、衛生状態の維持とコミュニケーション）の向上に努めております。

## 4月より店長・SV制度をスタートしました

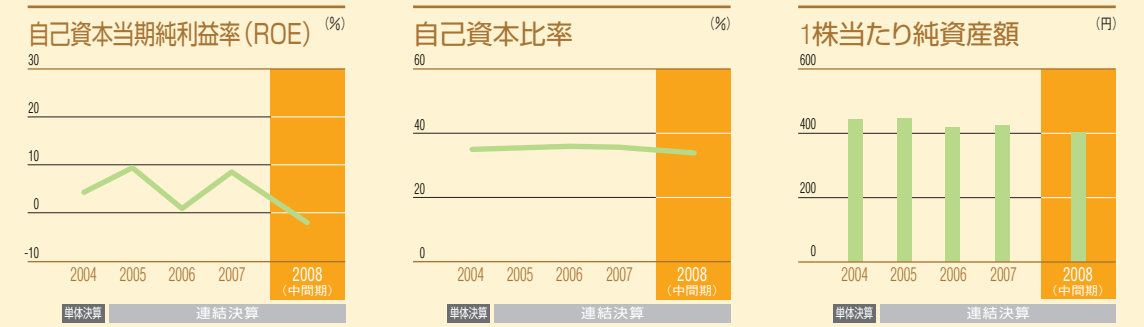
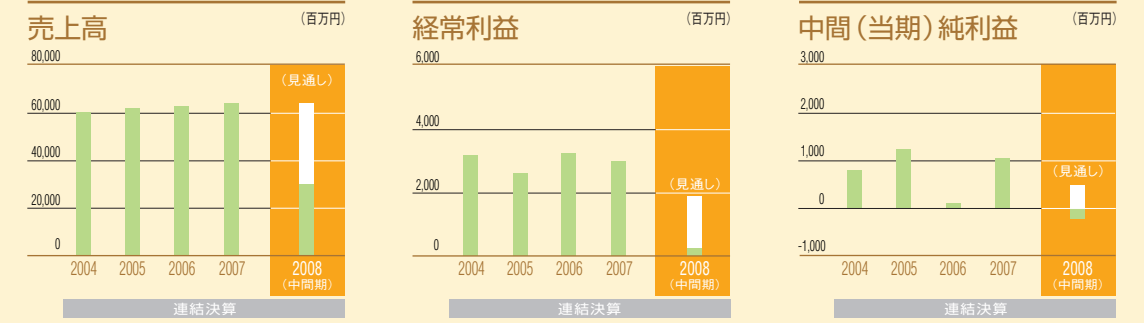
準備を進めてまいりました店長・SV制度が本格稼働しました。この制度では、販売力やお客様満足の上昇、そして、効率的な店舗マネジメント体制の確立を目指しています。店舗運営能力を高めるとともに、当社の強みであるオペレーション力の向上を図ります。

## 食の安全を皆様へお届けするために

お客様の信頼にお応えしていくため、2007年12月に、品質管理基準書を改定しました。食の安全に対するジョイフル基準を作成し、全従業員へ向けた周知徹底を進めています。また、年間を通じて全店の運営状況をチェックする一方、品質管理担当者が国内外取引工場の状況確認を多角的に実施するなど、お客様に安心してお食事を楽しんでいただけるよう、食の管理体制強化に取り組んでいます。



## 財務ハイライト



	2004	2005	2006	2007	2008	
					中間期	通期(見通し)
売上高	60,326	61,798	62,911	64,398	30,465	64,204
経常利益	3,162	2,610	3,197	2,955	249	1,869
中間(当期)純利益	812	1,262	106	1,077	△216	477
自己資本当期純利益率(ROE)	4.5*	9.7	0.8	8.7	△1.8	-
自己資本比率	35.2*	35.5	35.7	35.7	34.0	-
1株当たり純資産額	440.88*	444.14	417.58	424.09	402.25	-

※2004年6月1日に連結対象子会社を全て吸収合併したため、2004年期末の連結貸借対照表は作成しておりません。従いまして\*印部分は単体決算数値を掲載しております。

## 中間連結決算の状況

### 中間連結貸借対照表（要旨）

（単位：千円）

科 目	前 期 末 (2007年12月31日現在)	当 中 間 期 末 (2008年6月30日現在)
<b>資産の部</b>		
流動資産	7,678,344	8,299,242
固定資産	27,274,161	26,516,989
資産合計	34,952,505	34,816,232
<b>負債の部</b>		
流動負債	11,062,805	10,997,030
固定負債	11,417,205	11,989,139
負債合計	22,480,010	22,986,169
<b>純資産の部</b>		
株主資本	12,466,322	11,808,393
資本金	1,596,595	1,596,595
資本剰余金	2,390,432	2,390,432
利益剰余金	12,249,417	11,591,725
自己株式	△3,770,122	△3,770,359
評価・換算差額等	6,172	21,669
その他有価証券評価差額金	6,172	8,403
為替換算調整勘定	—	13,266
純資産合計	12,472,494	11,830,062
負債・純資産合計	34,952,505	34,816,232

### POINT

#### ■資産について

当中間連結会計期間末における総資産は、348億1千6百万円となり、前連結会計年度末に比べ、1億3千6百万円減少いたしました。

流動資産は、82億9千9百万円となり、前連結会計年度末に比べ、6億2千万円増加いたしました。これは主に現金及び預金の増加1億9千5百万円、有価証券の増加5億9百万円、たな卸資産の減少3億2千5百万円、前払費用の増加2億5千7百万円であります。

固定資産は、265億1千6百万円となり、前連結会計年度末に比べ、7億5千7百万円減少いたしました。これは主に、減価償却費及び減損損失等による有形固定資産の減少6億5千8百万円、繰延税金資産の減少8千万円であります。

#### ■負債について

当中間連結会計期間末における負債合計は、229億8千6百万円となり、前連結会計年度末に比べ、5億6百万円増加いたしました。

流動負債は、109億9千7百万円となり、前連結会計年度末に比べ、6千5百万円減少いたしました。これは主に、買掛金の減少4億7千6百万円と未払法人税等の減少3億8千1百万円、未払金の増加2億1千1百万円、未払費用の増加4億7千7百万円であります。

固定負債は、119億8千9百万円となり、前連結会計年度末に比べ、5億7千1百万円増加いたしました。これは主に、社債の減少1億1千5百万円、長期借入金の増加9億1千7百万円、退職給付引当金の減少2億9千5百万円であります。

#### ■純資産について

当中間連結会計期間末における純資産は、118億3千万円となり、前連結会計年度末に比べ、6億4千2百万円減少いたしました。これは主に、配当および中間純損失による利益剰余金の減少6億5千7百万円であります。

この結果、自己資本比率は34.0%となり、前連結会計年度末に比べ、1.7ポイント低下いたしました。

### 中間連結損益計算書（要旨）

（単位：千円）

科 目	前 中 間 期 (2007年1月1日から 2007年6月30日まで)	当 中 間 期 (2008年1月1日から 2008年6月30日まで)
売上高	31,468,268	30,465,822
売上原価	11,249,328	10,784,986
売上総利益	20,218,939	19,680,836
販売費及び一般管理費	19,138,011	19,418,969
営業利益	1,080,928	261,866
営業外収益	286,462	115,396
営業外費用	124,063	128,086
経常利益	1,243,326	249,177
特別利益	315,075	7,060
特別損失	520,274	328,272
税金等調整前中間純利益(△純損失)	1,038,127	△72,035
法人税、住民税及び事業税	625,245	108,367
法人税等調整額	△22,141	36,134
中間純利益(△純損失)	435,023	△216,537

### POINT

#### ■売上高

月替わりフェアやキッズ向け販売促進の強化などを図ってまいりましたが、客単価は前年並みに推移したものの客数が前年を下回って推移したため、当中間連結会計期間の直営ジョイフル業態における既存店売上高は前年同期比3.3ポイント減少となりました。

#### ■売上原価

原価率につきましては、原材料の高騰がある中、仕入値引およびメニューレシビの変更、自社生産食材の拡充、在庫管理による廃棄ロスの減少等により、前年同期比0.3ポイント減少しました。

#### ■販売費及び一般管理費

原油価格の高騰にともなう水光熱費上昇や、お客様に対するサービス強化を目的とした店舗従業員の充足等による人件費の増加、キッズ向け商品の広告宣伝に要する費用などにより、販売費及び一般管理費は前年同期比1.5ポイントの増加となりました。

### POINT

#### ■営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果得られた資金は、5億5千2百万円（前年同期比49.6%減）となりました。

主な増加要因は、減価償却費7億5千2百万円、減損損失2億3千8百万円、たな卸資産の減少額3億2千5百万円、未払費用の増加額4億7千5百万円であり、主な減少要因は、法人税等の支払額4億7千1百万円、前払費用の増加額2億5千8百万円、仕入債務の減少額4億7千6百万円であります。

#### ■投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果使用した資金は、4億2千万円となりました。主な内訳は、定期預金の払出収入21億5千万円、定期預金の預入支出22億5千万円、有形・無形固定資産取得による支出2億8千1百万円であります。

#### ■財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果得られた資金は、4億3千8百万円となりました。収入の主な内訳は、長期借入金の借入収入24億円であり、支出の主な内訳は、長期借入金の返済支出14億6百万円、配当金の支払額4億3千9百万円、社債償還支出1億1千5百万円であります。

### 中間連結株主資本等変動計算書（要旨）

当中間期（2008年1月1日から2008年6月30日まで）

（単位：千円）

	株主資本				株主資本 合計	評価・換算差額等			純資産 合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式		その他有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	評価・換算 差額等合計	
2007年12月31日 残高	1,596,595	2,390,432	12,249,417	△3,770,122	12,466,322	6,172	—	6,172	12,472,494
中間連結会計期間中の変動額	—	—	—	—	—	—	—	—	—
剰余金の配当	—	—	△441,154	—	△441,154	—	—	—	△441,154
中間純損失	—	—	△216,537	—	△216,537	—	—	—	△216,537
自己株式の取得	—	—	—	△237	△237	—	—	—	△237
株主資本以外の項目の中間連結 会計期間中の変動額（純額）	—	—	—	—	—	2,230	13,266	15,497	15,497
中間連結会計期間中の変動額合計	—	—	△657,691	△237	△657,929	2,230	13,266	15,497	△642,431
2008年6月30日 残高	1,596,595	2,390,432	11,591,725	△3,770,359	11,808,393	8,403	13,266	21,669	11,830,062

### 中間連結キャッシュ・フロー計算書（要旨）

（単位：千円）

科 目	前 中 間 期 (2007年1月1日から 2007年6月30日まで)	当 中 間 期 (2008年1月1日から 2008年6月30日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,095,992	552,043
投資活動によるキャッシュ・フロー	△135,202	△420,337
財務活動によるキャッシュ・フロー	△856,548	438,744
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	4,718
現金及び現金同等物の増加額	104,241	575,169
現金及び現金同等物の期首残高	3,201,170	3,121,356
現金及び現金同等物の中間期末残高	3,305,411	3,696,526